

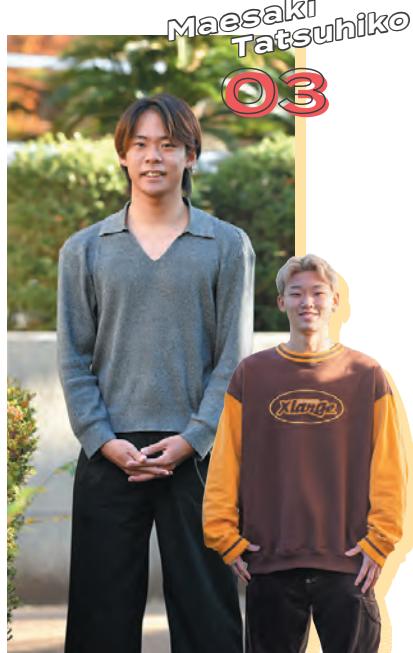
# MEIKAI UNIVERSITY

URAYASU CAMPUS  
ALUMNI ASSOCIATION



明海が育てる、  
人の力。

ここで磨かれる個性と  
広がるキャリア



03  
Maesaki  
Tatsuhiko



02  
Nomura  
Taiyoshi



01  
Motose  
Yuma

# 挑戦する“人”を、

GRADUATE

学びが力となり、  
未来を動かす

違う個性、違う道、違う挑戦。  
それでも三人に共通するのは、  
明海大学で見つけた「自分の武器」。  
学びは机の上だけにとどまらず、  
行動となり、結果となり、  
やがて未来を動かす力へと変わっていく。  
いま、挑み続ける3人のリアルな声に迫る。

明海はつくる。

経済学部経済学科

Class

GRADUATE

01

本瀬湧麻さん

種目

フリースタイル  
スクーター

[ Profile ]

経済学部経済学科2年。東京都生まれ。フリースタイルスクーター日本代表。14歳の時に、YouTubeで見かけた動画に魅了され、フリースタイルスクーターを始め。全日本大会2025、3位。WORLD CHAMPION SHIPS 2025、51位。高校3年間はフィジーに留学。



フリースタイルスクーターとは、競技用のキックボードでジャンプやスピンなどの技を繰り出す、アーバンスポーツのひとつ。日本での知名度はまだ高いとはいえないが、世界で100万人以上の競技人口を誇る。

「中学生の時、コロナ禍の自粛期間で、よく動画を見て過ごしていました。そんな時、たまたまおすすめに出てきたのが、フリースタイルスクーターの動画だったんです」

その後、自分用のスクーターを購入した本瀬さん。自宅近くのスケートパークで、本格的な練習を始める。「スクーターを通して学校以外の友人が増えたり、“既存の円の外”に出ていく感じが、刺激的でした」

かねてから海外にも興味があったという本瀬さん。高校3年間はフィジー共和国に留学することを決める。「先進国では得られない経験がしたいと考え、あえて発展途上国のフィジーを選びました」

留学中もスクーターの練習は継続。しかし、フィジーにスケートパークはない。未舗装の道が多く、恵まれた環境とはいえないかった。

「自分だけが取り残されてしまうんじゃないかという不安が、すごくあ



[ Name ]

## 野村太陽さん

種目

## プロキックボクサー

[ Profile ]

外国語学部日本語学科3年。東京都生まれ。KBスポーツジム所属。小学6年生の時、兄のすすめでキックボクシングを始める。18歳でプロ昇格。2025年11月、Stand Up新人王獲得。兄は、第7代Big bang ウェルター級王者、RISEランキング10位の野村太一。



GRADUATE

02



Nomura  
Taiyo  
[ Professional Kickboxer ]



でたまたま見たプロサーファーたちが、本当にかっこよくて。10歳でサーフィンを始めました

以来、コーチもつけて本格的な練習に励むようになったが、中学3年生の時に壁にぶち当たる。

「ほかのジュニアの選手たちが良い成績を収めていくなか、自分はなかなか結果が残せなくって。高校受験が重なったこともあり、一度サーフィンを辞めてしまったんです」

その後、宅地建物取引士の資格を持っていた祖父のすすめもあり、明海大学不動産学部に進学。転機は2021年の東京オリンピックだった。「久しぶりにサーフィンの試合を見たら、やっぱりかっこ良かったんですよね。もう一度挑戦してみよう、同じコーチのもとに戻りました」

千葉といえども、自宅のある船橋から海までは車で1時間以上。それでも授業のない時間帯を狙って、日々練習を重ねている。

「大学生活も楽しんでいます。いろんな人が集まっているのが、明海大学の特徴だと思います。不動産学部

でも、服飾が好きな子や、ディズニーのキャストになりたいって子がいたり。僕はサーフィンですし、それそれが自分のやりたいことを追いかけている感じがいいんですね」

すでに宅地建物取引士の資格を取得したという前崎さん。卒業後はひとまず就職せずに、サーフィンに専念するという。

「海外でサーフィンの練習をしながら、視野を広げるのもいいな、と考えています。まずは、プロサーファーになりたいですね」



Maesaki  
Tatsuhiro  
[ Surfer ]

ともと、8個上の兄がキックボクシングをやっていて。練習相手がほしいからって、ある日無理やり家の前に連れ出されたんです(笑)。蹴られたらもちろん痛いし、嫌だったんですけど、兄が『お金は俺が出すから一緒にやろう!』と、中1でジムに入ったのがきっかけです

キックボクシングを始めた理由を、野村さんはそう話す。中学校ではバスケットボール部に所属。しばらく

は、バスケットボールとキックボクシングの二刀流だったという。

「そのうちキックボクシングの試合にも出るようになると、だんだん楽しくなってきたんです。どこを攻撃すれば当たるかとか、考えながら戦うのがおもしろかったんですよね」

キックボクシングの興行をおこなう「RISE」関連のアマチュア団体「Stand Up」での試合出場を重ね、18歳でプロに昇格した。

「高3でプロになったんですけど、大学には行きたいと思っていました。明海大学は、高校の恩師のすすめもあって選んだ大学。他校に比べて、大教室での授業が少なく、教授との距離が近いんじゃないかな。親しみやすい先生が多いと思います」

授業が終わってから、ジムで毎日1、2時間は汗を流しているという野村さん。2025年11月には、Stand Upで見事優勝。新人王のベルトを獲得するまで至ったが、「今後は、もっと広く名の知れた団体の大会でも優勝したいですね。兄はチャンピオンになっているので、負けてられないです」と、さらに大きな夢を見据えている。

「キックボクシングを何歳までできるかはわからないけれど、上を目指す気持ちがある限りは、続けていきたいと思っています」

Class

GRADUATE

03

[ Name ]

## 前崎達彦さん

種目

## サーファー

[ Profile ]

不動産学部不動産学科4年。千葉県生まれ。ボディーボーダーの母に連れられて海に行くようになり、10歳でサーフィンを始める。中学3年生で一度挫折するも、大学2年生で再開。現在、NSAの大会に出場している。





2025年度千葉県大学サッカーリーグ1部 ..... 2位



関東大学バレー ボール秋季リーグ(女子1部) ..... 2位

第72回秩父宮妃賜杯全日本バレー ボール  
大学女子選手権大会 ..... 3位

令和7年度天皇杯・皇后杯全日本バレー ボール選手権大会  
決勝ファイナルラウンド出場



第61回東日本大学空手道選手権大会  
【女子団体組手】 ..... ベスト8

第36回関東学生空手道体重別選手権大会  
【男子個人組手競技-67kg級】 ..... 3位  
..... 玉口 巧揮(日本語学科1年)

第69回全日本大学空手道選手権大会  
【男子団体組手】 ..... ベスト16  
【女子団体組手】 ..... ベスト16



令和7年度関東大学テニスリーグ ..... 5部

## サッカー部

Soccer



## 女子バレー ボール部

Women's Volleyball

## 空手道部

Karate

## 女子硬式 庭球部

Women's Tennis

## 陸上競技部

Track & Field

2025日本学生陸上競技個人選手権大会

女子走幅跳 決勝6位

山田きらり(経済学科4年)

第104回関東学生陸上競技対校選手権大会

男子2部

総合得点 40点 第7位

フィールド総合 38点 第3位

女子1部走幅跳 4位入賞

山田きらり(経済学科4年)

女子1部砲丸投 8位入賞

谷津田 桃恵(経済学科2年)

## 集う力から 強さが生まれる

明海大学の体育会の活動は、025年度もそれぞれの部が着実に成果を上げている。公式戦で上位に進出した部もあれば、新たな挑戦に踏み出し、地道な努力を重ねる部もあり、その歩みは多様だ。その軌跡に共通するのは、学生一人ひとりが仲間と向き合い、自分の可能性と真剣に向き合っている。この点にある。勝敗や記録だけでは測れない経験があり、その積み重ねが人を成長させている。技術を磨くだけでなく、支える力や導く力、状況に応じて動く判断力

など、社会に出てから必要となる力が自然と身についていくのも、明海大学体育会という場ならではだ。6つの部はいずれも異なる個性を持ち、それぞれの目標に向かって歩み続けているが、その背景には「仲間とともに成長する」という共通の価値が流れている。明海大学の体育会活動は、競技者としてだけでなく、一人の人としての幅を広げる機会に満ちている。ここで育った多様な力は、卒業後のフィールドでも確かな武器となり、新たな挑戦を支える原動力になっていく。未来へと進む学生たちの姿が、躍進として今、鮮やかに形となり始めている。

多様な人が集うと

未来が動き出す。

## ヨット部

Yacht



2025年度関東学生ヨット春季選手権大会 決勝 総合成績5位

2025年度関東学生ヨット個人選手権大会[470級] ..... 優勝

2025年度第92回関東学生ヨット選手権大会

女子レース ..... 総合成績6位

関東大学バレー部秋季リーグ 2位!

全日本バレー部大学女子選手権大会 3位!



明海大学

## 女子バレー部の活力源

明海大学女子バレー部の躍進が止まらない!  
そこで絶好調のチームから3名の選手にご登場いただき、  
どこから強さが生まれるのかインタビューした。  
そのカギは、「個性が生みだすチームワーク」にあった。

躍進の理由があつた。  
コートの外にこそ、

本

誌前号にて「1部のトップをめざす」という言葉を太田豊彦監督からいただいた  
1年、明海大学女子バレー部は関東大学女子1部リーグ秋季大会で準優勝を勝ち取った。

しかしキャプテンの堤 亜里菜選手は「とても悔しい」と語る。それもそのはず、優勝した東京女子体育大学とは10勝1敗で並び、獲得したセット率の差での準優勝だった。

堤選手にチームが成長を続ける秘訣を聞くと、選手一人ひとりの個性豊かなアイデアを戦略に落とし込むことにあると教えてくれた。

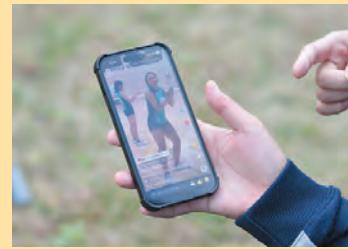
「一応、私がエースナンバーを背負っていますが、明海大学には突出した選手がいません。黙々とやるタイ

づみ選手は、個々のアイデアが生みだすシナジーが相手に読まれない強みにつながると話す。

「まずコンビネーションが変幻自在。選手が代わるたびに異なる方法で攻撃し、しかも組み合わせは多彩です。エースの堤選手がトスをあげたり、私がスパイクを打ったりと選手の動き方も自在なので、相手チームの事前準備を無効化できるんです」

現在の大学バレーはプロ同様にデータがものをいう。アナライズ専門の学生が試合を撮影し、分析して対策を練り、弱点を突いてくるのだが、明海大学のバレーはデータを取っても誰をマークしていいのかわからなくなるのである。

となると、精度の高い運動をどのように実現しているのか気になってしまう。「互いの状態には気配りますね。試合



尾崎選手を中心に明海大学公式TikTokにも登場。その投稿は再生回数7万回を超え、他校バレー部からも知られる存在に。尾崎選手「たくさんの人から愛される選手になりたい」

pmもいれば、ムードメーカーもいて、様々な個性が練習で『こんなふうに動いたらどう?』とアイデアを持ち寄って、監督とともに精度を上げていくことで明海大学のバレー部が生まれます」

セッターとして司令塔を務める永井い

中もハイタッチの際に相手の調子が伝わってきます。特にエジ(尾崎選手)はわかりやすい。『今、調子に乗ってるな』と」

笑顔でそう語る堤選手によると、練習から互いのコンディションを感じながら、試合ではその日波に乗っている選手に多くトスするそう。

「私、調子がいいと相手がすべてスローに見えるんです。そうなったら、チームでつないだボールを空いてるところに打ち込むだけ」と話す2年生でムードメーカーでもある尾崎例名エジンネ選手。試合中もジョークを飛ばして仲間の緊張をほぐし、ときには引き締める。尾崎選手が良い流れをつくることが多々あるそう。

2025年12月に開催された全日本インカレ女子では3位になり、明海大学の名を全国に知らしめた。豊かな個性が生みだすチームワークで大学バレー界のトップクラスへと駆け上がった明海大学女子バレー部。彼女たちの活躍からますます目が離せない。



左から堤 亜里菜選手(英米語学科4年)、永井いづみ選手(英米語学科4年)、尾崎例名エジンネ選手(英米語学科2年)。堤選手と永井選手は卒業後SVリーグへ



全日本バレー部大学女子選手権大会に挑む明海大学女子バレー部。チーム一丸となって戦い、前年王者を破って3位という成績を残した



浦安キャンパス

同窓会が支援

# 人材育成 プロジェクト

in

会津  
Aizu

人材育成に力を入れている明海大学浦安キャンパス同窓会。  
実践的な特別講義のカリキュラムが多い点も特徴だ。  
今回は不動産特別講義Ⅱの会津でのフィールドワークに同行。  
内容盛りだくさん、充実の1日をレポートする。

# 教室を飛び出して、実践的な学びの場へ

## 会津にゆかりの卒業生ジローラモ氏が案内人

今回のフィールドワークは、「不動産特別講義Ⅱ」の学外学修。2025年度の講義では、社会課題となっている空き家や遊休施設の再生・活用をテーマに、事業計画策定を通じて、実践的な知識とビジネススキルを身につけることを目的としている。今回その課題となる物件が会津にあるということで、学外活動が実施された。引率するのは、担当教員の北原淳特任教授（以下、北原特任教授）と、藤木亮介教授（以下、藤木教授）。学生は、2～4年生の全6名が参加した。

前日夜から会津に入り、当日の朝、ホテルロビーに集合した学生たちに話を聞くと、各自、事前に会津の歴史や文化的背景、社会課題や地域の現状についてはリサーチ済みという。その情報を踏まえて実際の物件を視察することで、よりリアルな提案が可能になる。「街における物件の位置や動線、会津に移った伊兵衛を初代とする江戸中期の享保時代に、奈良から

そうしたポイントも、歩きながら確認していきましょう」

藤木教授のそんなアドバイスと共に、ツアーはスタート。

「おはようございます。会津へようこそ！今日はよろしくね」

一行を待っていたのは、パンツエッタ・ジローラモ氏。明海大学経済学部卒の4期生（1991年入学）で、モデル、タレント、実業家など、幅広く活動している人物だ。今回の視察では、ジローラモ氏が案内役を担当してくれた。

「お題の物件は、『旧黒河内医院』。胃腸病医院として利用されていた、昭和11年築の建物です」

実はジローラモ氏、この物件を宿泊施設にリノベーションする計画をすでに検討中。しかし、さら

にいいアイデアが出来れば採用も考えたいと、今回案内してくれることになつたという。それもあつてか、学生たちの顔はひときわ真剣。質問も具体的で、熱を帯びていた。

「保存建築物の視察の側面はもちろん、会津という町の歴史を学ぶという観点からも、訪問場所に福西本店を選んだんです」

北原特任教授はそう話す。銀行や電力、鉄道など、数々の事業を手がけることで財を成した福西家。

それもあり、最高級の材料が惜しみなく使用されている。

3カ所目、最後の視察場所は、



① 旧黒河内医院にて



② 福西本店にて



① 昭和11年（1936年）築。胃腸病医院として使用されていた建物。② 福西家が、明治後期から大正初期にかけて建てた蔵と商家建築。国登録有形文化財。③ 1946年創業、閑美工堂の倉庫をリノベーションした複合施設。1階はカフェやショップ、2階はコワーキングエリア他



黄熱病や梅毒の研究で知られる野口英世は、福島県耶麻郡三ツ和村（現：耶麻郡猪苗代町）出身。街のいたるところで、彼のモチーフを見かける



③ ヒューマンハブ天寧寺倉庫(HHT)にて





「野口英世青春広場」にて。街の偉人を知ることも、地域再生においては重要。この像は、2005年の広場オープンにあたり、市内中央公民館前から移転されたもの

旧黒河内医院を案内するジローラモ氏。「大きな戦禍に見舞われなかつた会津は、貴重な建物が残っています。和洋折衷建築は、外国人からも人気ですね」

### 碑文について(英文訳文)



## GIRO米とは

妻の実家がある福島・会津美里町で、衰退する農業と過疎化を目の当たりにしたジローラモ氏が立ち上げたプロジェクト。「米づくり」を基盤に、農家支援や販売ルートの確保を進め、地域資源をいかした町づくりに挑戦している。



「ヒューマンハブ天寧寺倉庫（HHT）。ここは、会津塗りで漆器や雑貨を製造する関美工堂の元倉庫だ。のちに、同社3代目となる関昌邦さんが、東京での会社勤務を経て、2003年にUターン。倉庫をリノベーションし、22年に複合施設としてオープンした。

「1階は、漆器を始めとする会津の商品を集めたセレクトショップと、カフェ、シェアオフィス、コワーキングスペース、イベントスペースなどを設けています」

ここでは、関さんが取り組んできた活動を中心に、会津地域の活性化についてのプレゼンテーションをしていただいた。

「時代は、『人・もの・カネ』から、『人・場所・知恵』の時代に移り変わりつつあります」

会津の文化を守りながらも、新たに広かるコミュニティの構想を聞き、学生たちにとつてもおおい

に気づきのある時間となつた。

観察は、この3軒で無事終了。

しかし、この日はもうひとつ大きな催しが控えていた。ジローラモ氏主催のディナーアイベント「鶴ヶ城フレンチ饗宴～歴史と文化のマリアージュ」だ。これは、東京から一流フレンチのシェフ8名を招き、会津産食材をふんだんに使った料理を、地元の関係者に振舞おうというもの。ブッフェ形式で、会場は会津のシンボルである鶴ヶ城の目前という特等席だ。調理は、3軒目に訪れたHHTのシェフエアキッチンで実施。開始時間が近づくにつれて、完成した料理が続々と運び込まれてきた。学生たちも、手伝いに忙しい。会場設営をサポートしたり、受け付け業務をサポートしたり、受け付け業務モ氏が乾杯の音頭をとる。

「縁のある会津で、こんなすてきな会を開催できてうれしいです。」



## 多様な人々が 交流することで 生まれる未来

ブッフェテーブルでは、実際に調理を手がけたシェフがメニューの説明をしてくれるシーンも。参加者は熱心に耳を傾けつつ、皿いっぱいに料理を盛っていた

## Human Resource Development Project in Aizu

Supported by The Urayasu Campus Alumni Association



ディナーの開催に当たっては、明海大生もお手伝い。男子学生は主に設営、女子学生は来場者の受付係として、イベントのサポートをおこなった



乾杯の音頭は、ジローラモ氏から。「GIRO米でもお世話になっている、ここ会津ではばらしいイベントが開催できてうれしいです」とあいさつした



用意された料理は、本格的なフレンチでありながら、「会津馬肉のブルスケッタ」など、この地になじみ深い素材がふんだんに使われた独創的なラインアップ



参加したシェフ8人は、東京で活躍する人々。打合せの際にはフランス語と共に流暢な日本語が飛び交い、すばらしい手際で料理を仕上げていた

明海大学卒業生をつなぐネットワーク

# マイカイLINK

人と人が  
交差する。  
未来で再び

株式会社 M&C

1996年度卒業

経済学部経済学科

**亀山 直人**さん

地元の町田市で起業。不動産学部ではありませんが新たに宅建事業も始めました。常識にとらわれるこことなく新しいことにチャレンジする仲間を応援します！いつでも相談してください！



鍼灸整体マッサージ治療院  
T-1コンディショニング

1996年度卒業

経済学部経済学科

**田口 裕之**さん

同窓生の皆さん、心身のことでお困りでしたら遠慮なくお問い合わせください。



ALOHA ALWAYS  
HAWAII COFFEE

1999年度卒業

外国語学部日本語学科

**石浦 香秀里**

(旧姓:我妻)さん

ご家族やご友人と一緒にぜひお越しください！



株式会社アートランド

2007年度卒業

不動産学部

不動産学科

**武本 真吾**さん

兵庫県西部・岡山県東部の不動産探しは当社までご連絡ください。



クロスワード税理士事務所

2006年度卒業

外国語学部中国語学科

**大岡 俊明**さん

中国語学科卒業ですが、絆余曲折あり税理士となりました。法人の税務顧問と相続税の申告に特化していますので、明海大学の卒業生の皆さんのお力に少しでもなれたら光榮です。よろしくお願ひいたします。



AI保険サービス株式会社

2010年度卒業

経済学部経済学科

**石倉 慶久**さん

近年保険料改定が多数ございます。販管費の削減や節税対策等ご相談くださいませ。



明海大学でつながった縁を、これからも。卒業生同士を結ぶ「マイカイLINK」に、ぜひご登録ください。

株式会社SCエージェンシー

2003年度卒業

経済学部経済学科

**小河原 誠**さん



新たな収益源を確保に向けた新規取引先開拓の営業代行支援事業と営業職をメインとした人材紹介事業をおこなっております。売上が伸び悩んでいる、社内で営業人材が足りないといった課題をお持ちの方は是非お問合せいただければ嬉しいです。

CAFFE & VINO  
Mio preferito

2002年度卒業

外国語学部中国語学科

**田邊 明日香**

(旧姓:望月)さん

いろんな学部のOB&OGが集つてます！よろしければ、ぜひ遊びに来てください！



株式会社ダイワ不動産

2000年度卒業

不動産学部不動産学科

**國立 典靖**さん

卒業後、地元で不動産業を営んでおります。



株式会社クボタ住宅

2001年度卒業

不動産学部不動産学科

**久保田 嘉人**さん



地元、宮崎で頑張ってます。



株式会社ハシモトホーム

2011年度卒業

不動産学部不動産学科

**松本 翔子**

(旧姓:宇野)さん

イベント開催おこなっておりますので、東北に縁がある方は是非、ご来場お待ちしております。※同窓生である旨をお伝えください。



da masa pizza al forno

1995年度卒業

経済学部経済学科

**小川 昌博**さん

お近くにお越しの際はお立ち寄りください。



2026年

1月 設立

2月 2026年事業募集/承認(社員総会)

事業承認(同窓会/理事会)

5月 2026年度予算承認(同窓会/代議員会)

10月 2027年度事業計画(社員総会)

## NEWS

浦安キャンパス同窓会は2025年度、活動の新たなステージとして一般社団法人「Company MEIKAI」を設立します。これまで任意団体として続けてきた同窓会活動を、より社会的信頼性の高い形で発展させ、大学の多様なプロジェクトや社会実践教育を継続的に支えていくための一歩です。

# 浦安キャンパス同窓会、一般社団法人 「Company MEIKAI」を設立へ。 —未来の学びと実践を支える新しい仕組みとは。

これまでの同窓会は任意団体という性質上、契約行為ができない「資金管理の制約」「雇用・外部委託が難しい」などの“限界”がありました。一方、明海大学ではホスピタリティ・ツーリズム学部・不動産学部を中心、企業や行政と連携した実践的なプロジェクトが拡大中。その成果を社会へ届けるには、責任ある受け皿となる組織が必要となっていました。一般社団法人の設立は、「自主事業を展開できる力」と「大学のプロジェクトを持続的に支援する基盤」の両方を整えることを目的としています。

新たに誕生する「Company MEIKAI」では、明海大学浦安キャンパスの各学部が行うプロジェクトの事業化支援、自主事業の企画・実施行政・研究機関からの受託事業同窓会

ランド向上に向けた活動を担っています。組織は同窓会と連携しながら運営され、一般社団法人の理事・社員は同窓会役員を中心に構成。透明性の高いガバナンスで運営し、将来的には寄付金の受け入れや資産管理も可能になります。

2026年1月の設立後、2026年度から支援希望プロジェクトの募集を開始予定。学園祭のホームカミングデーなど、同窓生が参加できる場とも連動しながら活動を展開していきます。

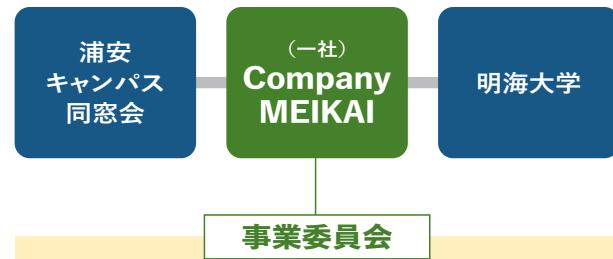
この法人は、卒業後も大学とのつながりを保ち、後輩の学びを支え、地域に貢献できる“新しい母校の窓口”となる存在です。ともに育った場所を、次の世代へ渡すために。これから Company MEIKAI の挑戦に、ぜひご期待ください。

## 2025年度代議員会

2025年度明海大学浦安キャンパス同窓会代議員会が、5月10日開催された。北原淳会長の挨拶から始まり、その後、同窓会の事業報告や決算報告、新役員の選出、新年度事業計画、予算案などが審議・承認された。また、一般社団法人設立についての審議を行ったため、8月2日臨時代議員会を開催。審議を経て、一般社団法人設立が承認された。一般社団法人は、今後、同窓会事業の幅を広げる受け皿として活用していく。



## [組織図]



## 事業委員会

## [支援事業]

- 各学部が推進するプロジェクトに対し、事業支援を行う
- 法人設立後に支援を希望するプロジェクトを募集

## [自主事業]

E 総合型地域スポーツクラブ

## 事業開発部

E 人材の派遣(教員や学生のチカラを社会に)  
行政・研究機関からの受託事業

海大学浦安キャンパス同窓生の皆さん、こんにちは。ホスピタリティ・ツーリズム学部の上杉恵美です。

私は非常勤講師時代を含めますと30年近く、明海大学で教員生活を送ってきました。2005年4月にホスピタリティ・ツーリズム学部が新設されてからは、同学部の歴史とともに歩んできました。創設当時は「ホスピタリティ」という言葉が今ほど知られておらず、学部名を言うと「病院関連の授業をしているのですか?」と聞かれたものです。教員と1学年のみの学生たちと一緒に、何もかも初めての授業や活動で始まった試行錯誤の学部初年度、最初の卒業生を輩出するまでの4年間のことは、今でも感慨深く思い出します。

私の3・4年生合同ゼミでは毎年、学生たちが自主的に計画し実際に現地で観光資源を学ぶフィールドワークを行っています。その過程は、学生たちの間の交流を深める時間と場にもなっています。

こうしたゼミ活動を基盤として2014年度には、明海大学同窓会の「夢プロジェクト

ト」にゼミ生3名がチーム名「利尻礼文を広め隊」、プロジェクト名「利尻礼文ボランティアツアーで真剣に島と向き合おう!」で応募しました。審査結果は僅差で2位でしたが、企画内容に高い評価を得て資金援助をいただくことができました。チ

ームはこのツアーを実現するため利尻島での下見を3回を行い、島民の皆様の協力を得るためのネットワーク作り、ツアーの旅程作成と参加者募集などに多くの時間とエネルギーを注ぎました。その結果、学部教員と学生10名が5泊6日のツアー参加し、利尻島での昆布干しや島固有の希少植物を守るために外来種の除去、島のイベントへの参加、利尻島の観光資源の見学など、このツアーでしかできない貴重な体験をすることができました。今振り返るとこの試みは、自然保全と観光資源を生かして地域活性化を目指す「サステイナブル・ツーリズム」の先駆けだったと思います。

同窓生の皆さん、明海大学で育んだ課題への取り組みの姿勢や人間関係、大学時代に得た経験やつながりをぜひ大事にして、今後の糧にしてください。明海祭や同窓会を通して皆さんから近況をうかがう機会を楽しみにしております。



Message  
From  
Teacher

ホスピタリティ・  
ツーリズム学部

上杉恵美 教授

## コミュニティサポート事業

同窓会員同士のコミュニティづくりのお手伝いとして、  
補助金によるサポートをおこなっています。



明海大学OB・OG ウィナーズ



クラス会



元情報処理研究部

昨秋の大会で2部準優勝の成績であったことから、昨春の大会同様、1部に昇格し、迎えた春季市民大会。開幕から2敗を期し、春季大会を終了しました。秋季大会では一部昇格に向けて決勝進出を目指したいです！

2003年に入学し、同じクラスだった仲間との再会を楽しみました。課題に追われた授業や、昼休みを過ごしたフードコートなど、毎日の思い出。在学中の出来事もつい先日のように思い出され、話が盛り上がりました。



Swish OB・OG



CQU研修メンバー交流会

第10回記念大会Swish Cup開催しました。以前は大学時代の思い出話や異業種で活躍する仲間たちの仕事の話が中心でしたが、最近では大学生になった子どもたちの話へと移り変わり、約30年も前の仲間がこうしてまた楽しい時間を過ごせる幸せを感じた大会でした。

2003年に明海大学経済学部の海外研修に参加したメンバーによる交流会を開催しました。引率教員としてお世話になった宮崎礼二先生にもご参加いただきました。本交流会は毎年1回実施しており、明海大学時代を振り返る場として今後も継続していく予定です。

元情報処理研究部の卒業生14名が集まりました。卒業以来、会うことがなかったメンバーもおり、懐かしい話に花が咲きました。引っ越しなどで、会報が届かず学部同窓会告知を見ていない人も結構いたので、次回は本会DBへの住所変更も促したいと思います。



小島ゼミOB・OG

昨年に引き続き小島先生と小島ゼミのメンバーで集ました。今年は近況報告、留学、合宿の時の思い出話、私達が40代50代となり健康面での話題になりました。今から食事や運動に気を付けることの大切さを思い、また来年皆さんで会えますを楽しみにしています。

### サポート条件

※詳しくは同窓会ウェブサイトにて  
ご確認ください。

1

原則として会員が  
6人以上で集まる  
コミュニティであること。

※支援対象者は、会員のみとなります。

2

パーティーや活動終了後、  
レポートと参加者名簿を  
提出すること。

※レポート・名簿ともに規程フォーマットに  
記入していただきます。

※レポート・写真は、HPや会報に  
掲載させていただくことがあります。  
予めご了承下さい。

※参加者名簿は、本会のプライバシーポリシーに準じて  
活用いたします。

3

宗教や政治活動を  
目的とするコミュニティは  
対象外となります。

4

支援は年度内1回  
のみです。  
(同じ人が年2回  
受け取ることは出来ません)

